

マネジメント システムの統合

附属書 SL のガイド

附属書 SL とは

[戻る](#)[次へ](#)

附属書 SL は、最新の ISO 規格の上位構造です。附属書 SL は、異なるマネジメントシステム規格間の一貫性と互換性を保証し、統合された実装を可能にします(統合マネジメントシステム)。

統合マネジメントシステムのメリット

LRQA では、多くの ISO 規格を採用した統合マネジメントシステムを導入することで、組織にとって明確なメリットがあると考えています。統合マネジメントシステムは、サービスの提供、環境への影響、従業員の健康と安全など、組織活動の様々な側面にわたってリスク要因を統合的に管理するための効果的なメカニズムです。これにより、組織は自社の戦略目標を運用に結

びつけ、利害関係者を適切に関与させることもできます。最初の実マネジメントシステム認証が確立され、統合マネジメントシステム・アプローチを構築するための正しい基盤が定義されれば、追加の認証を導入するために必要な時間、労力、活動は大幅に減少し、投資をはるかに上回るリターンを得ることができます。



附属書SLは、組織活動の様々な側面にわたってリスク要因を統合的に管理するための効果的なメカニズムです。

附属書 SL の箇条

[戻る](#)[次へ](#)

附属書 SL は 10 箇条で構成されています。マネジメントシステム規格のすべての内容は、附属書 SL のフレームワークに従う上で、10 箇条すべての判断基準を満たさなければなりません。箇条は次のように分類されます。

箇条 1. 適用範囲

マネジメントシステムの意図された結果を定義します。

箇条 2. 引用規格

関連する規格または出版物を引用します。

箇条 3. 用語および定義

規格全体で使用されている一般的な用語の定義を示します。

箇条 4. 組織の状況

マネジメントシステムがカバーする領域を定義します。

箇条 5. リーダーシップ

この領域では、リーダーシップチームがマネジメントシステムの運用に関与することの重要性を強調します。

箇条 6. 計画

マネジメントシステムがその目的をどのように達成し、組織がリスクにどのように対処するか。

箇条 7. 支援

マネジメントシステムの運用をどのように支援し、効率的に運用するか。

箇条 8. 運用

これらの領域のパフォーマンスをどのように追跡するかなど、ビジネスにおける日常のプロセスと運用の詳細。

箇条 9. パフォーマンス評価

マネジメントシステムの要求事項に照らして、ビジネスの運用状況を分析および監視します。

箇条 10. 改善

パフォーマンス評価の結果を使用して、ビジネスとそのプロセスを改善します。

ほとんどの場合、これらの箇条は、適用される規格に関係なく、同一の共通テキストを使用し、共通の用語および定義を共有して、マネジメントシステム規格間の一貫性と互換性を促進します。

これは、マネジメントシステムの基本的な仕組みが標準化されていることを意味します。もう一つのメリットは、規律に焦点を当てた詳細が運用（箇条 8）に含まれ、必要な場合にのみ他の箇条で参照されることです。例えば、ISO 14001 では、環境リスクの決定は計画（箇条 6）に該当します。

附属書 SL フレームワークを採用しているのはどの規格ですか？

現代のマネジメントシステム（2011 年以降に発表・更新されたもの）の多くは、その規格全体に附属書 SL の枠組みを採用しています。

ISO 9001、ISO 14001、ISO 27001、および ISO 45001 などのより一般的な ISO 規格は、すべて附属書 SL 構造に準拠しています。

ISO 9001 のメリット

[戻る](#)[次へ](#)

顧客満足

ISO 9001 の第三者認証は、契約上の取引要件であることが多くあります。LRQA の世界的に認知されたブランドを通じて、組織に競争上の優位性を提供することができます。



新たなビジネスチャンス

多くの場合、ISO 9001 に対する独立した第三者認証は取引の要求事項であり、国際的に認知されたブランドを通じて、LRQA の認証は競争優位性をもたらすことができます。仮に認証が契約上の必要条件ではない場合であっても、お客様のサプライチェーン内で安全なビジネス関係を構築するための信頼性を提供します。



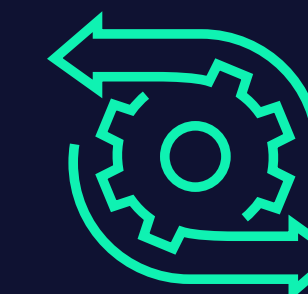
プロセスの合理化

ISO 9001 のベストプラクティスの指針に準拠することにより、組織はリスクマネジメントへのアプローチを改善し、組織の内部および外部の状況を明確に理解し、全体的なビジネスの有効性とパフォーマンスに対して価値ある貢献を果たすことができます。



円滑な統合

ISO 9001 は、新規および改訂されたすべての ISO 規格で使用されているハイレベルな構造である附属書 SL に準拠しており、これによりマネジメントシステム制御を単一の「マネジメントシステム」に統合することが容易になり、コストと労力の重複を削減するのに役立ちます。



ISO 14001 のメリット

[戻る](#)[次へ](#)

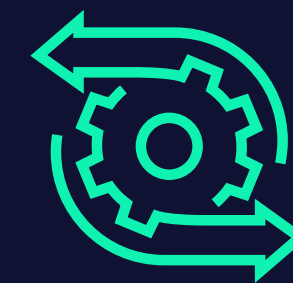
環境法令コンプライアンス

ISO 14001（環境マネジメントシステム）認証は、組織が環境パフォーマンスを向上させるための継続的な取り組みを実証するのに役立ちます。



円滑な統合

ISO 14001 は、ISO 9001 や ISO 45001 などの他のマネジメントシステム規格と共通のマネジメントシステムのフレームワークを共有しており、品質、環境、労働安全衛生マネジメントシステムと容易に統合することができます。



環境リスクマネジメントの改善

ISO 14001 は、エネルギー使用量の削減、廃棄物の削減、リサイクル率の向上、原料および消耗品のコスト削減など、主要な測定領域におけるパフォーマンスの管理と改善に役立ちます。これにより、評判の低下や法的手続きにつながる可能性のある後始末や訴訟など、事後対応的な戦略の必要性が軽減されます。



信頼性の向上

ISO 14001 認証により、信頼性が高まり、入札参加の際に認証を取得していない組織に対する競争上の優位性を確保することができます。



リスクマネジメント

ISO 14001 の認証取得は、環境リスクを管理し、特定の目標に対して継続的改善を行っていることを示すのに役立ちます。



コスト削減

ISO 14001 は、環境目標に向けた継続的改善を推進することにより、原料のより効率的な使用とパフォーマンスの向上を推進し、コスト削減を促すのに役立ちます。



ISO 27001 のメリット

ISO 45001 のメリット

[戻る](#)[次へ](#)

データと評判の保護

ISO 27001 認証により、情報資産のセキュリティを管理するための体系的なリスクベースのアプローチを持っていることを、利害関係者に示すことができます。効果的な情報とセキュリティ管理を導入することで、組織はリスクと脅威を継続的に評価し、それらを管理するために必要なアクションを推進できます。



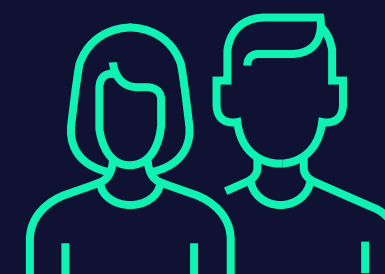
一歩先に行く

ISO 27001 の認証を取得するには、EU の GDPR など、該当する法規制を特定する必要があります。これは、リスクマネジメントとコーポレートガバナンスにプラスの影響を与え、コンプライアンスの実証と契約上の要件の充足に貢献します。顧客やその他の利害関係者に対して、データ漏洩を防止してデータを保護するための管理と手順があることを示すことができます。



従業員の健康と安全の向上

ISO 45001 は、労働災害の低減を目的としており、従業員が自身の OH&S（労働安全衛生）において積極的役割を果たすことを促される安全衛生文化の醸成に重点を置いています。これは労働安全衛生への明確な取り組みを示す強力なリーダーシップによって支えられており、安全文化の創造を支援します。その結果、従業員の離職率を減らし、士気を高め、従業員の定着率を向上させ、作業環境をより安全で健康的なものにします。



生産性の最大化

ISO 45001 は、組織としてリスク要因を把握し、従業員の健康や安全を守ること、欠勤率を下げ、従業員の離職率を減らし、生産性の向上につなげることを目的としています。



コンプライアンスと卓越性への取り組み

ISO 45001 は、規制および法的義務を管理するための明快なフレームワークを提供します。強固な労働安全衛生マネジメントシステムを導入することは、利害関係者の信頼を得るのに役立ち、ブランドの評判を向上させ、契約入札時に競争優位性がもたらされます。



円滑な統合

ISO 45001 は同じ上位テキストと共通の構造を共有しているため、ISO 9001 や ISO 14001 など、すべての新規および改訂された ISO マネジメントシステム規格と容易に統合できます。



LRQA を選ぶ理由

[戻る](#)[次へ](#)

信頼と実績のあるパートナーと協力してマネジメントシステムを認証することは、利害関係者に高い基準が設定され、満たされていることを示す、他に類を見ない強力な方法です。認証は、安全で持続可能かつ倫理的な働き方への取り組みを示すことで、現在の評判を高めながら、将来のリスクを最小限に抑える業務慣行を確保するのに役立ちます。

戦略的ビジョン

技術的ノウハウ、セクターの専門知識、革新的で先見性のあるアプローチが、現在の課題に対処し、将来的により安心・安全・持続可能な組織になるための支援を提供します。

技術的な専門知識

LRQA のスタッフは、認証、検査サービス、サステナビリティ、教育研修、サイバーセキュリティなどのセクターや技術における一流の専門家です。クライアントのチームと協力して、リスク、課題、ニーズを明快に理解したうえで、現在および将来のビジネスの成長を支援するために知識を共有します。

グローバルな監査能力

160 か国以上で事業を展開し、世界中で 30 以上の認定機関に認められ、幅広い業界をカバーしています。お客様のビジネスとサプライチェーンの両方において、リスクマネジメント、ビジネス改善の推進、利害関係者との信頼関係の構築、サステナビリティ目標の達成を支援することができます。

効果的なパートナーシップ

どのビジネスも固有の特徴があります。だからこそ LRQA のエキスパートがお客様と協力し、そのニーズと目標を完全に理解し、支援のためのベストな方法を検討することが必要です。

先駆的アプローチ

LRQA には率先して業界を構築してきた実績があり、あらゆる機会を活かしてクライアントと協力し、新たなアイデア、サービス、イノベーションの開拓を絶えず続けています。



YOUR FUTURE. OUR FOCUS.

LRQA について

認証・サイバーセキュリティ・検査・教育研修分野の比類なき専門知識を結集することにより、当社は世界的な認証のリーディングプロバイダーの地位を確保しています。

その伝統は誇るべきものですが、顧客との今後のパートナー関係を構築する上で、本当に重要なのは現在の当社の姿です。揺るぎない価値・リスク管理、軽減における数十年の経験・未来への的確なフォーカスを組み合わせることで、より安心・安全・持続可能なビジネス構築に向けてお客様をいつでも支援します。

独立した審査・認証・教育研修から、リアルタイムの認証技術・データによるサプライチェーン改革まで、当社の革新的なエンドツーエンドのソリューションが、変化の速いリスク環境に積極的に対処できるようお客様をサポートします。つまり、未来の状況を成り行きに任せるのではなく、お客様が自ら構築できるようになるのです。

お問い合わせ

詳細については、<https://www.lrqa.com/ja-jp/> をご覧ください。



LRQA リミテッド

〒 220-6010

横浜市西区みなとみらい 2-3-1

クイーンズタワー A10 階

本書に示すすべての情報が正確かつ最新であるように、LRQA リミテッドでは細心の注意を払っています。ただし、情報の不正確さや変更について当社は一切の責任を負いません。

LRQA は、LRQA Group Limited およびその子会社の商号です。詳細については www.lrqa.com/entities をご参照ください。

© LRQA Group Limited 2022